■大学・短大部・専門学校が行なう支援（修学進路選択、心身の健康等）

学生相談

ささいな悩みにも、カウンセラーが適切なアドバイスをしている。

学生生活を送る中では、さまざまな悩みや問題も生じてくる。悩みは、人に話すことで問題を客観的にとらえられたり、それが自分ひとりのものではないと気づいたりする。学生相談室では、勉強やアルバイト、プライベートなことなど、臨床心理士・公認心理師が直接面談し、相談に応じている。 相談日は坂戸キャンパスは平均週 4 回（火・水・木・金）、駒込キャンパスは平均週2回。

相談内容等は秘密厳守。

保健センター

保健センターでは、主に定期健康診断、健康相談、応急処置などを行っている。

定期健康診断

年一回、4 月に実施している。

受診できない場合は、各自医療機関で受診（自費）し、結果を速やかに保健センターに提出する。

健康相談

病院へ行くほどではないが、体のことで心配なことや聞いてみたいことなどがある場合、以下のとおり医師や看護師及び養護教諭が相談にのっている。

＊また、キャンパス周辺の医療機関案内（受診時間や地図など）を用意している。

医師による健康相談

診療科	駒込	坂戸
内科	火曜日	
精神科	隔週金曜日	水曜日　金曜日
婦人科	月 1 回	月 1 回

※原則として予約制。対面またはオンラインで実施。

※日時は保健センター掲示板で知らせている。

※必要に応じて、専門医を紹介している。

その他、悩みや心配事、疑問など随時、看護師と養護教諭が相談にのっている。

応急処置

学内でのケガや急病時は、保健センターで応急処置を行なっている。

体調が悪いときは、ベッド休養もできる。

■駒込保健センター利用案内

開室時間　月～金 9:00～17:00（短大が５時限で授業終了の場合は18：00まで）

場　　所　2 号館 2 階（階段上がってすぐ）

連　　絡　℡・Fax 03-3576-3221

■坂戸保健センター利用案内

開室時間　月～金 9:00～18:50 （4 限で授業終了の場合は 17：00 まで）

土 9:00～12:40

場　　所　12 号館 3 階

連　　絡　℡ 049-282-3247　Fax 049-282-3610

学生寮

日本栄養大学若葉寮

坂戸キャンパスから徒歩 1 分、東武東上線若葉駅から徒歩 2 分、5 階建ワンルームマンションタイプの学生寮を設置している。

入寮時には、身の回りのものを準備するだけで安心・快適な暮らしがスタートできる。

入寮定員約 100 名。

入寮対象者は昼間部女子学生に限る。

在寮期間は 2 年間。

管理人常駐。門限 23 時。

全洋室

1 室 1 名ベッド・デスク・本棚・物入れ・ユニットバス・ミニキッチン・冷蔵庫・洗濯機・シューズボックス・トイレ・エアコン付個室のほかに共用の部屋として、ゼミ室、多目的室（和室)、談話室。

所在地 埼玉県坂戸市千代田 3-18-17（坂戸キャンパスから徒歩 1 分)

交通案内東武東上線「若葉」駅東口より、徒歩 2 分

学生寮から駒込（短期大学部）キャンパスまでの通学時間約 1 時間

通学定期代(駒込キャンパスまで)1 ヶ月／8,280 円 3 ヶ月／23,570 円 6 ヶ月／44,660 円

奨学金制度

くじけることのない「向学心」を応援している。

経済的な事情のために、修学が困難な場合等、以下の奨学金制度がある。

■北 郁子奨学基金奨学金（大学 1・2 年生、短期大学部 1 年生）

本学卒業生、北 郁子氏の「経済的理由のために母校で学ぶことができないことが無いように、若い方々を支援し育成したい」との遺志を継いだ奨学金制度であり平成 21 年創設。学納金の納入に著しい困難を来たした学生に対し、半期ごとに学納金の一部を給付している。書類審査・面接等により希望に添えない場合もある。

■横巻のぶ記念奨学金（大学 3 年生以上・短期大学部 2 年生・専門学校生徒)

本学園創立 50 周年記念事業の一環として設立された、創立者香川綾の生母名を冠した奨学金制度である。家庭の事情により、修学の途中で学納金の納入に著しい困難を来たした学生に対し、半期ごとに学納金の一部を給付している（1 年制課程は後期学納金が対象)。書類審査・面接等により希望に添えない場合もある。

■香友会わかば奨学金（大学 4 年生・短期大学部 2 年生・専門学校生徒)

本学園卒業生の同窓会組織「香窓会」が主催する奨学金で、各学科、専攻における教育の理念を基に、それぞれの専門性を活かした社会活動を志向して学業向上に意欲を持って取り組んでいる学生に対して、その目的を遂行するための費用を助成（授与）するものである。

■DNP 奨学金（大学 4 年生・短期大学部 2 年生)

株式会社 DNP ファシリティーサービスと学校法人香川栄養学園との連携協力に基づき、DNP 奨学金が設立。本学園の長年にわたる日本の栄養学を先導する先進的な諸活動への敬意と、そこに学ぶ真摯な学生の学業を支援し勉学を奨励することを目的として、前年度までの学業成績が優秀な学生を選考し、奨学金を給付する。

■野口医学研究所奨学金（大学 4 年生・短期大学部 2 年生・専門学校調理マイスター科 2 年生）

米国財団法人野口医学研究所・一般社団法人野口医学研究所〔浅野ファンド〕が学校法人香川栄

養学園との連携協力に基づいて提供する資金を原資として、経済的理由により卒業に支障がある学生に奨学金を給付する。

■東京都育英資金（専門学校）

都内に居住し、勉学意欲があり、経済的理由による就学困難なものに対して必要な学資金を貸し付け有用な人材を育成るための制度である。

■日本学生支援機構

○貸与奨学金の種類と月額（令和8年度）

<table>
<tr><th rowspan="2">種類</th><th colspan="2" rowspan="2">区分</th><th colspan="2">貸与月額</th></tr>
<tr><th>自宅通学</th><th>自宅外通学</th></tr>
<tr><td rowspan="4">第一種
奨学金
（無利子）</td><td colspan="2">学部</td><td>2 万円・3 万円・4 万円・
5 万 4 千円</td><td>2 万円・3 万円・4 万円
5 万円・6 万 4 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">短期大学部</td><td>2 万円・3 万円・4 万円・
5 万 3 千円</td><td>2 万円・3 万円・4 万円
5 万円・6 万円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">大学院</td><td>修士</td><td colspan="2">50,000 円　88,000 円</td></tr>
<tr><td>博士</td><td colspan="2">80,000 円　122,000 円</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">第二種
奨学金
（有利子）</td><td>学部・
短期大学部</td><td>2 万円・3 万円・4 万円・5 万円・6 万円・7 万円・8 万円・
9 万円・10 万円・11 万円・12 万円</td></tr>
<tr><td>大学院</td><td>5 万円・8 万円・10 万円・13 万円・15 万円</td></tr>
</table>

※貸与月額は上記から奨学生が選択。

※選考基準として、学業成績基準と家計基準が設けられている。

※入学時特別増額貸与奨学金については、日本学生支援機構ホームページ等でご確認のこと。

ホームページ http://www.jasso.go.jp/

○高等教育の修学支援新制度(授業料等減免及び給付型奨学金)

令和2年4月よりスタートした制度で、経済的理由から修学を断念することのないよう、国が経済的負担の軽減を図る。多子世帯を対象とした授業料等減免の支援もここに含まれる。なお、授業料等減免及び給付条件は、学業成績基準の他に家計基準や扶養する子どもの人数等によって異なる。減免額及び給付額の詳細は、日本学生支援機構ホームページ、文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」でご確認のこと。

■ その他の奨学金

地方自治体や各種団体なども奨学金制度を設けている。貸与額や条件はそれぞれに異なる。詳細は出身地の都道府県・市区町村の教育委員会・各団体に問い合わせる。

香川綾・芳子奨励賞

自らの可能性を高く大きく伸ばし、つねに自分自身を向上させようと努力し、大きな成果をあげている学生を表彰し、奨励することを目的に設立された。

対象者は、学業成績が優秀で課外活動や学内行事、ボランティア活動にも積極的に参加している学生・生徒。研究科委員会・教授会、学校教員会議が推薦し、学長、校長が決定する。なお、受賞者には表彰楯のほか、奨学金が授与される。

修士課程特別奨学生制度

大学院入学試験および学部成績が極めて優秀な者（学内者に限定）。栄養学・保健学各専攻それぞれ入学時に 2 名以内（合計 4 名以内）に入学金および授業料の全額を免除とする。

学納金は実験実習教育研究費・施設費のみとなる。

大学院入学生奨励「浅野嘉久賞」奨学金

学部成績が優秀、かつ卒業研究に熱心に取り組んでいて、卒業研究の指導教員の推薦があり、さらに大学院入学試験に優秀な成績で合格した者（学内者に限定。ただし、修士課程特別奨学生となった者を除く）2名に、60 万円の学納金を免除する。(1 年後期の学納金から 30 万円、2 年後期の学納金から 30 万円を充当する。）

岡本(旧姓 齋藤)萌実記念奨学金

女子栄養大学(2026年4月より日本栄養大学)栄養学部 保健栄養学科保健養護専攻の卒業生である岡本(旧姓 齋藤)萌実氏の遺徳を偲び、ご遺族からのご寄付で給付される奨学金である。保健学専攻の在学生のうち学業成績優秀な者に対し、修士課程各学年2名、博士後期課程2名(計6名)に対し5万円が給付(後期の学納金に充当)される。

修士課程長期履修学生制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限の 2 年で修了することが困難と認められる者に対し、修士課程を 3 年間で計画的に教育課程を履修し、修士の学位取得を可能にすることができる制度である。修士課程の 2 年分の学納金の総額を、3 年間で納入する。

大学院修学休業制度

現職教員が大学院に在学し、専修免許状を取得するために、教育公務員特例法等の一部を改正する法律（平成 12 年 4 月 28 日第 52 号）により、創設されたものである。平成 13 年 4 月 1 日から実施。国公立学校の教員（教諭、養護教諭、栄養教諭及び講師）で、一種免許状または特別免許状を持つ者が、任命権者の許可を受けて、大学院で 1 年を単位とし 3 年を越えない期間で、研修を行うために休業することができる制度である。

大学における障がい学生支援

■障がい学生支援

日本栄養大学障がい学生支援規程に基づき、障がいのある学生が他の学生と同じように授業に参加できるよう、修学環境の調整を行っている。

■その他の学生支援

障がいの有無にかかわらず、修学に困難を抱える学生の相談に応じ、支援をしている。必要に応じて学内の関係部署や学外機関（医療機関等）と連携している。

（支援窓口）

学生支援センター（12号館3階）　平日9：00～17：00開室

就職支援

希望通りの職業まで万全のナビゲートをしている。

本学の就職状況のいちばんの特徴は、きわめて高い就職率を安定して保っていることである。公務員（教員や地方自治体の栄養士など)、病院・福祉関係施設など、資格免許を活かした専門職への就職は、景気や社会動向の影響を比較的受けにくいのがその理由である。また、食品企業を中心とした一般企業からの求人も多く、将来への選択肢がますます増えている。学生がこのメリットを最大限に活かせるよう、本学では万全の就職活動支援プログラムを用意し、個別に丁寧な支援を徹底している。

■ 就職支援の体制

本学では、学生一人ひとりが希望通りの就職を実現できるよう、就職委員会と就職支援事務部署である就職課を中心に学園全体が一体となった就職支援体制を整えている。

関係教員だけでなく在学生と就職課との意見・情報交換を通して基本的な支援方針を策定している。その方針に基づき、就職課はガイダンスの企画・実施、個人面談など、具体的な支援を担

当している。さらに、3　年次に全員と面談を行う等学生一人ひとりの希望進路を把握して情報提供を行なうなどきめ細やかな個々への支援も行なっている。

■就職活動支援プログラム

就職課では、学生の希望業種を問わず、適切なアドバイスができるよう就職活動支援プログラムを企画している。

その中心がガイダンスで、就職活動の仕組みや選考方法の理解と対策、求人情報収集の方法や就職情報サイトの利用方法など実際に就職活動を進めるために必要な内容構成で年に数回開催している。これらのガイダンスと個人面談により、学生はいつでも「今、自分が何をすべきか」を知ることができる。

また、バラエティ豊かなテーマ別プログラムも開催している。コミュニケーション力やプレゼン能力を高める講座、卒業生から直接話を聞いたり相談できる卒業生の話を聞く会、就活準備のための就職対策講座（4～5 回）やメイク・マナー講座、選考試験対策のためのＳＰＩおよびエントリーシート対策講座や模擬面接会、学内での企業セミナーの開設などさまざまな方向から学生への就職支援を実施している。

■卒業後のフォローアップ体制

本学には卒業者対象の求人も数多く寄せられる。管理栄養士や臨床検査技師として現場経験を有する者や、すぐに勤務できる家庭科教諭や養護教諭である。

卒業生からの転職情報の請求や相談も少なくなく、卒業生就職支援としてWEB上で求人情報の提供を行っている。また、対面、電話、メールによる転職相談にも随時対応するなど卒業後も密度の高いフォローを続けている。

■その他の取り組み

＜インターンシップ制度＞

栄養学の専門的知識だけでなく、広い視野、実践力、経験を身につけて学生が社会に飛び立てるよう、夏期休暇や春期休暇を利用して、企業などに赴き、実際の仕事を体験。自分の適性を見極めながら、社会人としての心構えや企業が求める人材像などを学ぶことができる。

＜病院、保健センター、保育園などの福祉施設への就職志望者＞

資格取得のために関係省庁が求める以上の期間・内容を満たした学外実習を実施している。社会人として必要なすべての資質の向上を目指したプログラムが組まれている。

＜企業の研究員、総合職への就職志望者＞

企業の採用担当者を招き、話を聞く機会を設けている。また、プロの就職コーディネータが講師となり就職活動のノウハウを教える勉強会を実施している。

住居の紹介

自宅外通学をする学生のために、通学の便を考えた近隣アパート等住居の紹介を行なっている。

ICT 環境

全学生に e-mail アドレス（eiyo アドレス）を貸与しており、授業のレポートや教員への質問、また就職活動なども活用している。

また、学生向けポータルサイトを通して、休講や連絡、呼び出しなどの情報をスマートフォンやパソコンで確認する事ができ、同時にe-mailでも通知される仕組みになっている。

その他、無線 LAN 環境の整備や、Microsoft Office を個人のパソコンやスマートフォンに無償でインストールできる権利を付与している。

学生の支援体制としては、ICTのサポートを行う部署を設置しており、スタッフが常駐している。